



**販売等が認められていないフグの有毒部位の流通が
中野市内で確認されたため、購入者の特定を急いでいます。**

4月16日から18日に中野市内の食料品販売店「新鮮屋 オタギリ」で、有毒とされている皮下組織が残ったままの「マフグ(みがきフグ)」が販売されました。

購入された方は、絶対に食べないでください。

至急、保健所または販売店舗までご連絡をお願いします。

【ふぐに関する情報】

商品名 : まふぐ身欠(皮・内臓を除去したもの)
販売数 : 4匹(1匹300グラム)
販売所 : 新鮮屋 オタギリ
中野市一本木375
加工場所 : 新潟県内(新潟県で調査中)



【お問い合わせ先】

北信保健所食品・生活衛生課 : (電話) 0269-62-3106
新鮮屋オタギリ : (電話) 0269-22-4075

【情報の探知】

- 令和3年4月19日午後1時頃、北信保健所に管内住民から「有毒な可能性がある皮下組織が残ったふぐを販売している店舗がある。」との連絡がありました。

【北信保健所の調査概要】

- 販売されたフグは、新潟県内で加工処理されたものを、4月16日に販売所が仕入れ、4月18日までに4匹販売していました。(4月16日1匹、17日2匹、18日1匹)
- 北信保健所が残品を回収し、フグ取扱者に有毒部位の残存の有無を確認してもらったところ、マフグの有毒部位とされている皮下組織が付着している状態でした。
- 販売所は、販売した4匹の購入者の特定を急いでいます。
- なお、新潟県内にあるフグの加工所については現在、新潟県に調査を依頼していません。

北信保健福祉事務所(保健所)食品・生活衛生課
(次長)宮原 淳 (課長)山崎 光隆 (担当)山口 哲弘

電話 0269-62-3106(直通)
0269-62-3105(内線119)
FAX 0269-62-6036
E-mail hokuho-shokusei@pref.nagano.lg.jp

健康福祉部食品・生活衛生課 乳肉・動物衛生係
(課長)吉田 徹也 (担当)高井 剛介 須田 正典

電話 026-235-7154(直通)
026-232-0111(内線2655)
FAX 026-232-7288
E-mail shokusei@pref.nagano.lg.jp